

～Manaba機能改善制作～

Y200309 脇耀鋭 Y202003 クアンダフィド Y200500 平西美穂

1. 目的と背景

Manabaとは、授業支援システム（LMS）であり、その「シンプルで使いやすい機能」は、学生視点から見ると、直感的に使いやすいが、逆にあれば便利な機能もないのがわかる。

そこで、当活動ではmanabaを、拡張機能を用いることによって、感覚的・視覚的にわかりやすくすることを目標とし、それにより、新入生も在校生にもさらに使いやすくすることで円滑な大学生活を送ることを目的としている。

2. 方法

事前にwebサイトにおける改善点・不満点などを学生からアンケートを取った結果を参考に、改善案を選択。

- (1) レポート期限による一覧色分け
- (2) 通知数の表示
- (3) manabaの時間割におけるクォーター分け
- (4) 視覚情報の削減
- (5) ドラッグ&ドロップで提出

スクレイピングという、webページから情報を取る作業から、ネットを活用し、必要な知識を学習しながら作成していく形を取る。

3. 成果

(1) 期限による一覧色分け

期限が近くなると、緑→黄色→赤に変化する。



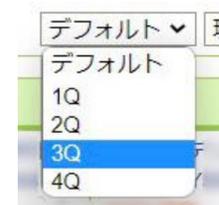
(2) 通知数の表示

manabaを開いていなくてもブラウザから拡張機能のアイコンから通知数の確認をすることが可能。また、通知のポップアップからmanaba、及びポータルサイトに飛ぶことが出来る。

(3) クォーター分け

時間割を前期後期だけでなく、クォーター分けも可能に。

※クォーター分け導入は先端理工学部のみ



(4) 視覚情報の削減

manaba上にある「お知らせ」などの欄を枠に含まれた記号を押すことで収納が可能に。



(5) ドラッグ&ドロップで提出

提出物を「ファイルを追加」からする必要はなく、ファイルからドラッグで選択することが可能に。



4. まとめ

制作においては、拡張機能制作がメンバーの誰もが未経験だったことや、拡張機能そのものが最新版になっていたこともあり、あまりデータがなく手探りの状態で始まった。自分たちで考えなければならぬところも多かったが、その中で、大学内や個人で学習したことを生かし、目に見える成果として結果的に残すことが出来た。

案として上げていたシラバスとmanabaの連携は、かなり難しく時間内に完成させることが出来なかったのが課題として残される。

ダウンロードは？
詳しい説明もこちらのQRコードから！

